

令和6年度 檜原村村民対話集会

日時：令和6年9月20日（金） 19時30分～21時00分まで

場所：檜原温泉センター数馬の湯

村側出席者：村長、副村長、教育長、福祉けんこう課長、外主任2名

参加人数：13人

《意見交換》

■まず、九頭竜神社のところに横断歩道または信号機をつけたいということで、都議会議員さんにこのお話をしましたところ、お二人とももう警察の方に行って動いていただいております。信号機は手押しボタン式がいいのか、どの場所に設置したらよいのかという話はしていますが、まだ簡単にしかお伝えできていないことをご報告しておきます。

また、ヘリポートの件も笛吹に候補地があるというようなことを伺っておりますが、その辺りのことを詳しく教えていただきたい。先ほどの九頭竜神社のところの信号機は本当危険で神社も最近参拝客が非常に増えておりますので車を運転する者もすごく怖い思いをしていますし、何か事故が起きる前に早く対応していただきたいと思います。

あとはサル GPS がありますが数馬のエリアのサルにはついていないのか。ついていないようであればつけていただきたいなと思います。以上です。

→【村長】

それではまず一点目の信号機の関係ですが信号機をつけるのは非常にやはり大変だとは思っています。信号機については実は私4月頃から、やすらぎの里の入口のところに信号機をつけてくださいということで要望書を持って署長のところにいきました。そしてそれは担当の方で調べてということで、交通量を調べて交通量が少ないから駄目でした、というそんな回答をいただいています。なので都議が動いてくれれば、警察の担当が動いていく可能性がありますので、そのことも含めて村の方で要望するのであれば、私の方でも動かさせていただきます。

そしてヘリポートの建設の関係ですけども今まであったところが土地の関係で今閉鎖してしまったということで、どこか建設したいということで、いろいろ協力していただいて、場所とかそういうところも物色している状態です。そこで浮上したのは、実は人里地域でもぜひどこか近辺に作ってほしいという話がありました。そして具体的に言わせていただくとまだ消防庁に問い合わせをしたり、そして副村長の方で見に来てほしいという話を始めていますので場所がいいかどうかというのも確定しないと動けないのですけども、今日の話、ちょっと消防署の人が来たので話をしたら10mぐらいでいいですかとお聞きしたところ、ヘリコプター自体が10mあるからもう少し広くなきゃ駄目だと言われました。丹田林道

から入ったところにおむすび山というんですけれども、もみじを植えてあるところの一番下の方の土地を提供してもいいよって人がいたので、そこをとりあえず見ていただくということで、地図もいただいておりますのでそこにする場合には、やはり入間の方に行ってる電気の線ですね、それが邪魔をしていると、どうしてもあれがあったんでヘリが飛べないということで、それを動かさない限りはそこには無理だといった状況でございます。そして 3 点目の GPS の関係については副村長の方が詳しいので、副村長の方から話をさせていただきます。

→【副村長】

GPS の関係ですけども、今一応、村の中にいるであろう 4 つの群れについては付いている形なんですけれども、その中でそれを受ける基地局が今 10 局で、それも足りなくて受けられないのかなというところでは、ここであと 7 局を補正予算でお認めいただいて、現在電波が取れないようなところに置いていく形でまず考えています。

あと、実際、数馬の方にいる群れが奥多摩から来たりしているのがいるのと、あるいはまだ付いてない、ちょっとした群れがいるのかもしれないですので、GPS を付けながら基地局を動かしたりとかして、なるべく不感地域がないような形でやりたいと思っていますので、しばらく様子を見ていただければと思います。よろしいですか。

■クマのことなんですけども、下組自治会長から聞いたお話で山の上にある人家の建物内にクマが入ってしまったという状況で、何とかならないかということをもまずご報告しておきます。

→【村長】

家の中に食べ物があって、その中にクマが入った形跡があって、食べ物を持ってかれたってことで私は話を後で聞いたのですけども、役場の方にも話が来ていて役場の担当では対応しているということで何かあったら駆除しましょうと話は来ています。それ以降は聞いていないそんなところです。

■関連してですけども、クマの駆除をできるような害があつてからでは遅いので、駆除ができるような体制に持っていつてもらえればいいのかと思っています。

→【村長】

クマの駆除というのは保護する団体とかそういうのがありまして檜原村でも 2 頭駆除していいよという、そういう許可はいただいているのですけどもそれには制約がありまして、警

察官が発砲して良いとか、そういうふうな形じゃないと撃てないということになっていきます。今日も猟友会の方がお見えになって、いろいろな話をさせていただいたのですが、とにかくクマの場合には被害が出てからじゃ遅いから駆除しよう、ということなのですが、人家にしょっちゅう出ているような場合には駆除というか、檻などで獲ったりして、どこかに持って行って放すとか、そういう形を取らせていただきたい。見かけたら必ず警察だとか役場の方に連絡をしていただきたいと思います。対応させていただきます。

■警察に電話いれて来るまでには逃げちゃうよ。足が速いんだから。だから今猟友会の人に来てシカの罠をかけているんだけど、クマの足跡があって危なくて、かかると困るからといって猟友会の人にはかけられないんだよね。うちのそばにクリの木があって今きているらしいんだけどクマの形跡があるということです。以上です。

→【村長】

今の話で、今日猟友会の人に来て、山の上のところをよく知っていてクマの足跡もあったと、そういうところに獲るやつをかけるとクマがかかって大変なことになるということで、かけないということでした。相談させていただいて、踏んだらかかる罠ではなくて檻かなにかでないと駄目かもしれないので、担当のところにはクマが出てということで話をさせていただきますので、どういう駆除というかやり方がいいのか検討させていただきます。それから通報していただいてすぐ駆けつけたとしても2、30分過ぎてしまうので、クマは逃げていくということで、今日もそれを言われたんですよ。防災無線をやっても遅いと言われたんですけで、とりあえずは放送しなければいけないし、夜だとか、そういうときには、あまり遅くなると防災無線もできないので役場に電話をしていただくと、防災住宅に住んでる職員がいるので、それを呼んで放送する場合には放送させていただきますのでそのような体制をとってますので、よろしくお願いします。

■去年ウリボウがいて、猟友会の人に電話をかけてウリボウがいると伝えて、罠を持ってきてかけたんだけど、入口までは来るんだけど、なかなか入らない。中にクリを置いたりカキを置いたりしたんだけど、人間が利口か動物が利口か、もう檻の前まで来るんだけど入らない。だから多分クマも檻を置いても入らないかなといった感じがします。以上です。

■1番目として、阪神淡路の地震後に耐震強化されて、東日本大震災の後でさらに強靱化されました。東京都においても、橋脚等の確認をなされて、橋の耐震補強というものを、今、

村の中でもいくつか出されている状況です。村においてもですね、村道とか林道、農道で、生活用の道路として使っているところで橋がある場合、例えば数馬では南に行く橋とか臼久保に行くところの橋とかですね。耐震基準に適合しないものについては耐震補強が必要じゃないかというふうに思いますので、村の方でもその辺を検討していただければというふうにまず思います。

2つ目としてですね、東京都は今年1月から秋川の水質調査をするということで今やっていますが、何ヶ所かの水を汲んで調べるということで、数馬では九頭龍神社の下のところでは採水して行きました。村でも環境保全条例で8、9、11条とか、あるいは規則の11条で規制はされているんですけども、化学物質等ですね、自然環境に害を及ぼすと思われるものについては、毎月都や村に届出ある水質調査研究所の調査報告をさせるようですね施行細則が必要と思われるのでその辺も検討していただければなというふうに思います。

それから3番目として、自然環境の変動により暑さとか、非常に集中豪雨が増えていきます。村内でも多くが東京都より土砂災害特別警戒区域という、結構指定されているところがあります。指定されているこの地域においては、建築確認制度や構造規制が適用されています。また、来年の4月からもこれ以外に省エネの問題であるとか、木造でも構造計算しなさいという規定になっています。檜原村はですね、都市計画区域外ということですが、もう都市計画区域外ではなくて、ここまで確認も必要だということになりますと、都市計画区域内であってもいいのではないのでしょうか。例えば集落部分を路線住居とかにしてですね、それ以外の山は市街化調整区域とすれば、既得権のある土地とか建物でなければ建物はできませんので、そういった規制もできるので、都市計画区域内に変更するというのも一つの案じゃないかなというので検討していただければというふうに思います。

4番目として今の話の続きにはなるんですけども、基本的に都市というものはですね、駅があつて、幹線道路があつて、周りに住宅や商業施設ができて、公共施設とか工業施設等ができて発展していくわけですけども、今村は過疎化の形で受けられてますけども少子高齢化の社会の中で空き家対策とか、企業誘致とかいろいろやってはいるんですけどもそれも大事なことなんですけども、もう一つ考えられるのは、今あきる野市はじめ村外でモノレールを南大沢の方から回してこようという運動がありますので、檜原を通すのは多分まず無理だと思うんですけども、あきる野からこのモノレールを引っ張ってきて下元郷の辺りまでもってこれないのかなと、もしもってこれれば、幹線道路も今あそこ迂回してくるので、非常に日向地区とか下元郷地区は結構良い地域になってくるのかなと思うんです。なので例えば下元郷あたりに駅ができれば、今あそこの日向地区と下元郷の川向うの辺りってというのは、それほど山が高くないので、ここを区画整理化してですね、宅地造成化して家が建てられるような形に持っていったらどうなのかな、山を崩すのに土砂どうするかというと、今の採石場の方に持ってって、今の採石場の跡地にまた宅地造成して家が建てられるような状況に持っていったら、将来的にも人口も増えてくるしいんじゃないかなと。モノレールの駅がそこにもし仮にできたとすれば、おそらく2時間もすれば都内にも行けると思うので、

仕事に通うにも多分利用するお客も多くなるし、逆に都民の森でもそこからですね大体 3、40 分あれば、今度バスで行けるんでもっと来るお客も増えるんじゃないかということが見込めるんで、私の理想とする村の都市化構想なんですけど村の方の行政としてもその辺をちょっと考えてもらえないものなのかなというふうに今感じてるところなんですけど、モノレールについては今が村外の市町で、今提携して八王子南大沢からぐるっと回してこようと考えていますので、それに便乗するのは今がチャンスかなと思うんでその辺も検討していただければというふうに思います。以上です。

→【村長】

それでは何点も質問いただきましたので、まず橋の関係ですね。橋の関係については実は村では、橋を定期的に検査しております。そしてそれに基づいて必要なところがあれば補強するような形でやるということで話は聞いております。そして川の水質検査ですね。条例を作って、もう少しあの検査をした方がいいんじゃないかってことでありますけども、村の方でもですね、定期的に毎年何ヶ所決めて檜原でも、確か 4ヶ所か 5ヶ所、質検査を毎年やっております。

そしてレッドゾーンですね、これは建築確認が必要ですけども、都市計画区域内に指定してはってことですけども、この山の中で都市計画区域いろんな形で指定をしてやっても、今、家がそれほどほとんど立たない状態でいるんですけども、これが必要かどうかというのは、これからの検討課題とさせていただきたいと思います。

そしてモノレールの関係ですね、今瑞穂まで呼ぶってことで、ある程度それが決まったようですけどもそこから羽村を抜けて、あきる野に来るような今運動をしております。

そして下元郷まで来れば本当に素晴らしいし夢のような話なんですけども、これが呼べるような形でなれば本当に宅地造成だとかそういうふうなことも考えられますけど、今の時点で、ちょっとモノレールは早いかなっていう気がしてるんですけども、それは呼べれば本当に素晴らしいと思いますので、その時期が来たら運動だとかそういうのもやるような形がいいかなと思っております。

■ただ一点だけ先ほどの水質検査の報告については、もし業者が許可をもらって作ったときに、その定期的に報告させるっていうようなことが必要じゃないかなと、工場とかいろんな環境に影響あるようなものを、もし許可をもらって作っちゃった場合、許可できないわけじゃないですね、作った場合には、村としては月に 1 回ずつそういうそれも自分のところで報告させちゃうと、偽造の問題が出てくるので、どうしても東京都とか、村に登録してある、例えば今都民の森でも八洲環境さんが浄化槽の水質検査をやってますよね。ああいう、要するに第三者の許可もらったところで調べて報告するんじゃなくて、第三者の機関に委託をしてそれがちゃんと調べて報告する方が、偽造するのが少なくなるんで、そういう方法がいいんじゃないかなというふうな条例を細則で作った方がいいよということです。

→【村長】

水に関して作ったところが検査して、それが報告してもね、信用度関係もありますから、それはそういうことが発生したときには、そんな対応させていただきます。よろしいですか。はい。

■一つ目は入間白岩林道は都の管轄だという話を聞いてるんですけども、とても車で走するのに穴ぼこだらけで、どうしようもないんですよ。もう避けようがなくて、何度も通るたびに感じるんですけどももし東京都の方の管轄でしたら村の方から少し要請してもらって早めに工事をして穴を埋めてほしいですけども、それが一つ。もう一つは数馬分校の件なんですけども、先日運営委員会会長と副会長が村長さんところにお伺いしたそうなんですけどその報告がまだ確実にちょっとあんまりよく伝わってないんで、もし、わかる範囲で教えていただければ以上です。

→【村長】

2点質問いただきましたけど、入間白岩林道は東京都の管轄で、そして数馬の「木立」から入ってちょっと行ったときから上の辺りがすごいと思うんですよ。村議会議員だとかそういうのが、東京都の方にも行っていただいたりいろいろしているんですけど、あの辺に材料を置いてるところがあって、そこが片付けば舗装を全部やりますっていうことで言われているようだけど、その辺も含めて、とりあえずは舗装を全部やらなくても、穴だけは埋めてくださいっていうのは担当を通じてお話をさせていただきます。東京都も把握はしているはずなんですけど、なかなか手を出さないそんな状況であります。そして数馬分校の関係はですね、自治会長さん2人でお見えになって、話はよく聞きました。状況も把握していい方向でってことで話を聞いておりますので、自治会長さんから聞いていただくような形で、申し訳ありませんけれどもこれから検討していろんな形で、それには村の方も応援できることは応援しますということで、話をしておりますので、よろしくお願いします。

■どうしてもお話したいなと思ってお伺いしました。まず私かなり耳が遠いんですよ。それで、理解できないときもあるんですけど今日は近いでしょう、人数も少ない、この前はものすごく大勢のときに行きました。何が何だか全然わからないから質問もできない、でもねこういう8ヶ所でこじんまりとやったださるほうが、皆さんも言いやすいし繋がり合うんじゃないかなと思いました。

一つどうしても今日はと思っているのは、ちょっと皆さんと変わってるから言うか迷うんですけども、私のうちは山もありません、もうほとんど自分の住宅の近くしかいないので

権利はないかもしれないけど、私去年の 11 月 11 日にクマと目があったんですね。あの橋を渡ったところの曲がるところでちょうどクマが道路の方へ上がるところで立ち上がってたところに巡り合ったんです。そのときに、その前の段階があるんですけど、その 1 ヶ月ぐらい前にカモシカが橋の下に居て私が橋を歩いてましたら顔と顔を合わせたんです目が合ったの、なんてかわいいんだろうと思って、初めてね動物の目とあって、その後も会いたい会いたって出てきてちょうだいてって思ってたところで今度はクマに会っちゃったんです。それ 11 月の 11 日の土曜日なので、あの村の方にはそのときは電話しませんが、その後観光課の方に寄ったときにね、ちょっと報告してきましたけど、そのときに、私は携帯を持って杖を持っていたんですよ。それで歩いてたら、びつくりして私も、でほらその前にカモシカと目が合ってたから、それと同じような状況ですごく親しみを感じてしまってた全然怖くなかったんです。それでこれはまず杖を隠そうと杖は棒だからね危ない、それから携帯で撮ろうと思ったけどこれも危険でしょほらパチっとするから、それでそうっと後ずさりしたんですけどそして橋のそばまで来て、それからもうまっすぐ向いて歩きましたけどね。あとは振り返らなかった。それでそしたらクマもいなかった。でもね、全然怖くなかったっていうのはカモシカで経験したからかなと思ってそういう関係で、私はやっぱり動物も人間も共存共栄でやっぱり幸せなね、昔からの里山がいいなと思って私はだから山にどんぐりやら実のなるもの、そういうのを植えてほしいなっていうのが要望なんです。その前に最近ほら柿の木、クリの木だって実のなるものは切ります。要望があれば切るってということで村の方でしましたよね。あれはね、なんか悲しくなったんですよ、里山はなくなる実がなくなるから人間もかつてはそれでやっぱり癒されたり食べて生き延びたりした時代だったと思うんですけど、だからそういう意味ではね、子供たちも全くわからなくなっちゃう柿の木やクリの木、私の場合コミセンのところで保育園をさせてもらってたときに、ある家に柿の木があったんです道路際に、それがあつた時切られたんです。そしたらね、うちは全部あのガラス戸だけにしてたんですよ。それをやって里山を作ってほしいし、でもそれはね、山に作ればその動物たちは山で暮らせるじゃないですか。やっぱりあの昔話にあつてっていうのがやっぱり私の職業柄そういうのがふっと浮かんでくるんですね。だから、どうしても山の方へこちらの人間側が何て言うのかな捕獲するだけじゃなくって、長い将来を考えて山でも暮らせる、動物が。そういう村作りがいいんじゃないかなっていうのを、最近思ってます私クマに会ってから、でもそれはやっぱり役場の方のプロジェクトか何か作ってね、そういう方向でしていただいたら嬉しいなっていうのが一つあります。

それから、住宅政策で非常に嬉しいなと思うのは、私も歩けなくなるあの坂道を、いろんなところ行くのにもないと私も村営住宅に入りたいなみたいな。そういうね、やっぱり山奥とか歩けないいろんな状況の人も入れるような住宅だったらやっぱり嬉しいですね。

そこまで生きられるかどうかわからないけど。

あとは、もう一つは耳の遠くなるっていうことは認知症じゃないんですけど、忘れたり結構話が違くないですか。そのことによって、やっぱり認知症なんて言われる。

筋合いもないんだけど、そういう可能性高いんですよ。だから私はこれから長生きを皆さんしますから家庭の中でねやっぱり何て言うんだらう。認知症にならない対策じゃなくて、認知症になった人とどう対話してどういうふうに心地よく家庭の中でも社会の中でも生きられるかなとそういうふうな方向で考えたら、何か福祉としてね、いいかななんて思う部分もあるんですけど、みんな勝手なことですけど私のその辺はねやっぱり福祉と教育とやっぱりそういう環境っていうのをすごく必要だと思いますのでね。そう言う点を今日お話しできたらいいなと思ってきました。ありがとうございます。

→【村長】

クマっていうのは、この辺のは比較的小さくて、でかいのもいるけども、それほど凶暴じゃないんですね、奥多摩では襲われたっていう例もありますから非常に気をつけなきゃいけないし私の家にも去年の11月には玄関のところにいましたので、そんな形で今さっきお話ししたように目が合ったりして後ずさりしてやるのは、対処方法としたら1番いいと思いますので、あまりかわいからって近くに行ってもそんなことはぜひやらないようにしていただきたいと思います。そして考えとしてはね、本当にわかります。山にどんぐりを植えて、そういう点では動物もかわいがってくださいっていうそういう考えは私もあの動物は嫌いじゃないんでいいんですけど、ただ日本の戦後の政策として植林をしましょうということで、山に全面積の66%が杉檜を植えてですね。それがもう50年60年経ってるんで、いろんなところで切る時期には来てるんですけども、それを伐採して、それを樹種の変更したりっていうような形のものとか、やればいいですけども、なかなか経済林なんで、環境林ってことで今いろんな形でやってますけども、なかなか経済的に繋がってないというところでもう切ってないと花粉対策だとかそういう手入れだとかそういうことは東京都がいろいろやってくれてるんで、村でもやってますけども、それを製材所に売って、いろんな形で山をどんどん切ってることは村では今のところはやっていません。そしてあの柿やクリの木を切ってるってことですけども、それは里にクマが来ないような対策として、村でも推進して、そういう要望があれば、村の費用でそういうふうなものは切らしていただいて里山に近づけないような対策としてやっております。おっしゃるように、あの里山作りですね、そういうふうなことも実はやりたいんですけども、なかなか今の状況ではやれるような状況ではないのでできたらそういうところがあればそこを指定して里山ってことで対応できればいいんですけどね。今のところ環境も非常に大変です。

そして村営住宅についてはね、ぜひ村でも移住定住政策として住宅はこれからどんどん作りましょうということでやっております。そしてそのニーズに合わせた住宅も作る予定ですので、高齢者住宅は今のところは藤倉なんかではそういう形で作ってあるんですよ。山の上の人たちが下に降りてきてもらうために2世帯作っております。そういうふうな形で、ここは山の上がないんでそういう形ではないんですけども、川の向こうには家があるんで、手前に作ればそういう人たちにも入れるような形にすればいいかなとは思っています。

そして認知症の関係ですね。これは私どもは専門家じゃないんですけども、福祉の方にぜひ相談していただいているんな専門家がついていますので耳の遠い方だとかそういうふうな形もケアさせていただいたり、いろんな形のことができると思いますので、ぜひ利用していただきたいと思います。よろしいですか。

■こんばんは。柏木野に住んでいてこちらには仕事で来てるんですけども、ここが避難所っていうことに聞いているんですけども、こちらにテレビがないんです。

テレビが映らないんです。それは避難場所としてどうかなっていうのがあるんですけど、情報として、ラジオだけでは絵で見えない。被害がどんなものなのかっていうのも見えないっていうのがちょっとあるんですけど、どうでしょうか、他のコミセンだとか、避難場所にはちゃんとあるんでしょうか、全部調べて欲しいなって思っているんですけど、映像の確認っていうのは多分いいかなと思うんですけど、耳に入るよりも目にした方が頭に残ると思うんですよ。そういうことってね。それが一つです。

あと、これはあきる野の方に聞いたんですけど、旗で無事ですとかってそういうメッセージがついた旗を玄関に貼るとかっていうのを聞いたんです。防災訓練のときにそれをやるっていうんですね。そしたら無事ですっていうのは玄関だけ見ればわかるじゃないですか。ここは空き家だとか、そういうのもあればわかるんじゃないんでしょうか?そういうのをやってほしいなって思いました。以上です。

→【副村長】

すいません、これは社員の方に確認したいんですけど、ここはテレビの線は来ていますか?

→【温泉センター社員】

線はきています。テレビもコロナ前まではテレビを置いてたんですけど、コロナに入ってお客様が滞留してしまうと困るってことでテレビを撤去しました。事務所にはあるんですけども壊れてしまっています。何週間か前に大雨が降って臨時休業した時があるんですけど、そのときにもしかして避難所になるんじゃないかってことで、テレビはちょっと自宅から持ってきてここに設置はしたんですね。だから、避難所として開設するときはテレビは必要だなということでは理解してます。

→【副村長】

そうすると温泉センターとしては要らないけど避難所としてはあればいいってことですね。

→【温泉センター社員】

小さいラジオはいただいているんですけど、それも感度が悪くてですね。NHK が良くて何と

か入るのかなという感じです。

→【副村長】

誠に申し訳ないんですけど、テレビはもうあるもんだと思っていて担当の方からですね、テレビが使えないとかそういう話はなかったんで、その辺がもしわかってれば、うちの方としても用意すべきものだと思ってたんで、どっかの段階で補正予算か何かでつける形を考えたいと思います。あと他のコミセンについては全てあると思います。

■他の避難所にもちゃんとありますか?自治会館とか。

→【副村長】

自治会館の方は一応避難所という形にはしてないので、自治会の方で用意されていればあると思いますけど、村の方で言うと避難所として指定しているところは確かテレビがあると思います。また確認はしますけれどもないところにはなるべくつけるように考えたいと思います。

あと、あきる野市の方の無事という旗のやつで確か防災訓練のときにはそれを貼ってくださってことで自治会の方でやってるんです。ただそれを村の中では、ちょっとそういう考えはなかったもんですから、自治会の方、連合会とかそういうところと相談しながらとか、村の方にですね安心安全むらづくり協議会というのがありますんでそういうところの事業とかに組んでもらってとかって形で、そういう意見をいただいたってことを伝えていきたいと思います。それでちょっと、何年かかかっちゃうかもしれないんですけど取り入れられるようなかたちを考えています。

■この施設の件に関しては、今日午前中に村長にお話しましたので、この点は特に話すつもりはないんですが、観光面について都民の森職員もいらっしゃるんでちょっと都民の森の件についてお聞きしたいんですけど、以前アスレチックがありましたよね。今は撤去されますけど、当時はかなり子供たちが来て、帰りに温泉にも寄っていただいたり、夏休みにはそのアスレチックをやるために、観光バスツアーで来られる方が結構多かったと思うんですが、撤去されてからちょっと子供さんが少なくなってるのかなという気がしてます。東京都に対して、もう少し子供たちが来て楽しめるような、施設というか、ボルダリングですとか駐車場に遊具はね作っていただいてるかと思うんですが、もう少し子供たちを呼べるような施設作りということを要望できないかなというのがあるんですが、いかがでしょうか?

→【都民の森職員】

アスレチックなんですけども、施設の老朽化とか、昔木製で作ってたってことでしてメンテナンスがとても大変だっていることでもう作らないっていう話を自分の方も受けてまして、駐車場だったりとか森林館の中庭には小さい幼児への遊具を作ったりとかですね、今、先ほどおっしゃった通り森林館の中にもう少し家族連れを呼ぼうということにして、コロナになった年に作ったものでボルダリングのボードだったりとかですね、あとは子供たち用に動物のカードとかを配布しましてそういった子供たちを呼ぶっていうような家族を呼ぶというようなことで考えているところであります。

確かにこのところ結構中高年の来園者がすごく多いというところですし、子供があまり来ないっていうこともありまして、実はですね明日子供向けの自然観察会を1日2回計画をして子供たちを呼ぶっていうようなこともしているんですけども、その子供がなかなかやってこないっていう視点に関しては特に都民の森の職員なんかはかなり苦戦して、いろんなイベントを組んだりとかっていうことをしながら今やっているような状態になっています。

■もう一ついいですか。水源をしっかり守るような法律なりを、これ檜原だけでなく国レベルで考えなければいけないなと思ってるんですけど、まずは檜原村からかなと思ひまして、海外からの水源を求めて、山林を買う方が非常に今増えてるかと思うんですね。それを食い止めるための何らかの規制をかけられないかなと思います。どういった方法がいいのかわかりませんが、ニセコとか山梨関係でも結構中国人が買い漁っていると聞いてますんで、今ひとつ檜原でも心配なんですけど、サントリーが今檜原村の山林を管理されてますよね、あのサントリーっていうのは、上場された会社でないと聞いておりまして、また資本関係の方が中国人というふうに聞いています。中国人が買い漁り始めているのかなと私はもうちょっと心配なんですっていうかサントリーの方は今後どうなっていくのかなっていうのをちょっと聞きたいっていうのがあります。今後その水源を狙っているとか、そういうのあるのかどうかちょっと確認したい。とにかく今山林は非常に安いので、何倍も値段をつけて簡単に買って、その金額に目がくらんで土地を手放してしまう方が非常に多いんじゃないかなと思いますんで、水源があるところについてはしっかりと目を張った方がいいんじゃないかなと思います。また檜原村は今水のことについて地球物理学者の方が檜原に住んでおりまして、檜原村はとても素晴らしいお水が発見されたとその水について、本が12月に発表される予定なんですけどその水がまたどういった水かっていうことがわかるとですね、日本全国また世界レベルで注目されていく可能性があります。そうになるとかなり住民にもかなり迷惑をかけてしまう状況が発生する可能性があります。その先生は天領水の方で、活性化水素について本を書かれた方なんですけど第2弾的な感じになるんですけどね。その本が発表されると、いろんな交通渋滞とか、そういう可能性がありますので、これは村

としても考えて行動しないと住民にもちょっと迷惑をかけてしまうかなっていうぐらいの水になります。

その水についてちょっと私はその水を守る会の会長をしているんですけど、その先生と一緒に一度村長と副村長を含めてお話を聞いていただきまして、村にも何らかの対応を考えていただきたいかなと思っておりますので日程等をちょっと作っていただきましてお話を今度聞いていただきたいと以上です。

→【村長】

それではまず水源を守るための対策ですね。これについて、村の方でもこの前条例を作って、いろんな形で水源だけではないんですけども環境を守る環境保全条例っていうのをもうちょっと厳しく作りましたので、そこで対応していきたいと思います。そしてあとサントリーですね、サントリーの森ってことで今サントリーだけではなくて財団が絡んで、村とそれから山の仕事で、山を手入れをしていただけるってことで協定を結んで、今手入れをしていただいております。そしてそれはどういうことかっていうと、サントリーが府中の方で水をくみ上げているということで、山の方でその水ができたものを、地下をくぐって、向こうで水をくみ上げてるんで水源の方も手入れをしたいっていうことで、そういう趣旨で協定を結んでやってると聞いております。土地を買い占めるとかそういうことはサントリーとしてはやっていないっていうと思ってんですけど、サントリーの本当のことはちょっとわかりませんが今の行動ですと、職員を連れてきたり植え付けをしたり、いろんな形で村のために、結構環境のためにやっていたらいいんで、そんな形でやっていたらいいと思っています。そしてあと土地を買い占めてるかどうかっていうのは村の中では今のところそういうふうな動きがないのかなと思います。そして天領水は私も聞いておりますので、それについてはまた詳しい話は後ほど時間をとって話を聞かせていただいて、ここがそうだよっていうところも私も行ってみたんですけども、今のところはちょっと台風の関係で斜面が荒れてるんで、ちょっと今通行止めになってますのでそこが終わらない 2 年ぐらいかかりますので通行はできないようにその間はちょっと行けない状態が続いておりますので、水も今のところは取れないような状態になっておりますので、承知をしておいていただきたいと思います。

■本では分析をしたのはその場所なんですね。ですけど、他にもそれと同じような水があるので、分析をしないと間違いないですと言えない。

→【村長】

後でまたお話を聞かせてください。

■4点ばかり質問させていただきます。まず1点は、診療所にマムシの血清は置かないんですか、置けないんだったらその理由を教えてくださいと思います。

それから、ゴミの不法投棄。時々人家の近くにゴミの不法投棄が私も通報がありまして連絡してくれってことで産業環境課の方に連絡したら不法投棄は警察管轄ってということで、警察の方に連絡しておきますってことだったんですが、まだ確認しましたら片付けてないような、もう2年ぐらい前なんですけど、片づけてないようなところがあったんでその不法投棄についてどういう対策を立てるのかっていうこと。

それからあとさっきマムシに関連して救急対応、救急隊が私救急車で行ったんですけど、救急隊が阿伎留医療センターに連絡したら受けられませんということで、青梅総合病院に電話しましたら総合病院の方も気を使って阿伎留さんには電話したんですかって聞いたら、阿伎留さんに断られたんで連絡しましたっていうふうに言ってました。それで檜原村は阿伎留医療センターには分担金も支払っていますので、観光に来て交通事故で怪我をされた方とは違うので、檜原に住所がある人の場合には阿伎留医療センターには気持ちよく、どうしてもっていう場合を除いては、なるべく受けていただくようにしていただければなというふうに思います。結構断られたって話は聞いておりますので、その辺の対応をお願いしたいと思います。

次に日照対策なんですけど材木がもう安くて手入れもできなくてということで、大きくなり放題なんですね。私もある人に相談したら作業道が入ればいいんですけどと言われまして、作業道はなかなか入れない場所もあるんで作業道が入れば、大雨のときなんか土砂災害とかの問題も起きますので昔みたいに伐採して、架線を張って出せるところは出させていただくような形で多少お金がかかってもその辺のところを村で出していただいて、日照対策を自分のためじゃなくて地域のためだとか他の日陰の人のために切りたいと思っててもなかなか切れないところ、切りたくても切れないっていうことがありますので、その辺のところを考えていただきたいなというふうに考えます。

→【福祉けんこう課長】

マムシのことなんですけども診療所長の方にちょっと確認してみます。ただ病院対応じゃないとできなし病院とか、そういった対応がないと血清が置けないっていうところもあるかもしれませんので、その辺の方は私の方から診療所の方に確認をとっています。

阿伎留医療センターの対応については担当課長会というのがありまして、そこで私の方からですね、村の人を救急対応で取ってくださいって一番大きな病院は阿伎留病院しかないんで、檜原村の人は高齢者が多いので、そういう例えば取らなかったっていうふうになると、小さい村で広がってしまって悪い病院だっていうようなイメージがつくので、ぜひそういうような対応をしないであの取ってくださいってことは言ってますので、これからもそういったような対応については、私の方からも直接担当課長会の方で言っていきたいと思います。

→【村長】

それでは私の方から不法投棄の対策ですね。この不法投棄は本当に犯罪ですので、警察に電話していただくのが一番いいんですけども、村の方の環境課の方に電話していただければ、そこからも対応させていただきますのでよろしくお願いします。

あとは救急対応ですねこれについて課長の方からお話させていただいたんですけど私の方もですね、3 首長が集まって、向こうの企業長と話す機会があるんですね。そのときにも、とにかく受けるのを断わらないでくださいと、要するに阿伎留病院としたら断ると信用がなくなるし、皆さんもあてにしてくるんだから、ぜひ入院とかそういうのも含めてね、先生がいらないから断るとか今までやってたけどそれについてはもう、ほとんど受けますということで話を聞いておりますのでただマムシに噛まれたとかそういう形でちょっと担当がいらないということで断ることもあるかもしれないけど、とにかく私どもは断ってもらっちゃ困るってことで強く言っておりますので、それについてはよろしくお願いします。

あと日照の関係なんですけども、日照の取り組みっていうのは村の中でもいろんな形で対応させていただいております。それには日照に関係する人たちが 1 割出さなきゃいけないっていうそういう決まりもあるし、それから恩恵を受ける人たちが、交渉してそして日照時間にも条件がありますので、該当すれば日照の対応で切ることができますので、交渉してもらったりそういうことは自分たちで交渉していただいて OK が取れば村方であの費用については 9 割補助ということで確かできると思いますので、よろしくお願いします。

→【副村長】

自治会の申請だったと思います、日照確保につきましては。それとあと木を出さなきゃいけないってことではなくて、どうしても駄目な場合はそこにちゃんと揃えて置いとけばいいってことなんで日照を確保できればいいという事業にしますんで木を出すことを前提にはしてないのでそういうことでも切れれば出さなくても切れるっていう事業であったと思います。

■その場合の切った場合の木っていうのは、通常 1 本 3000 円とかっていうことですか、なんかそれと今 2 点追加で思い出したんですが、今都道の草刈を始めてるんですけど、今日もやってたと思うんですが、人家の前は刈らないんですね。人家前だけでもうちの下なんか都道の縁石があってそこに草が生えていて、そこだけ刈らないんですよ。あと、山百合がありますけど、あの辺の数馬山荘のところが刈ってないで終点のとこだけちょっと刈ってあるんです。決まりっていうのは何かあるんですかね都道ですから東京都から申請されてやってるんでしょうけれども。

あと南沢林道のところに昔せせらぎ遊歩道って作ってあったんですよ。それでそこにガードロープを張っちゃったよね。何年か前に下水道をやったときに担当係長にこれ切ってくれないかと歩道が一応赤道であってということになっていったんですけど、そしたら下水のときに舗装するからそのとき切るって言ったんで、なんで切らなかったかと言ったら、ちょっと金がかかるということで切ってもらってないんで、あれなんとかして切ってもらえないかな。1.5センチから2センチのガードロープが2本あって、またがなきゃ通れないんですよ。釣り人なんかもそこを通るので。

→【村長】

あのガードロープは落ちないように張ってあるんですけどそれ切っちゃっても大丈夫ですか。それでは担当の係長の方に話をさせてもらいます。そこを見るという形にさせていただきます。

それから都道の草刈りですね、これは東京都の方でどこを刈るかっていうのは全部指示がしてあるはずなんですよ、それでほんのチョロチョロあるのは刈ってほしいが、それをちゃんと残してみんな刈ってあるんでそういうところも含めてぜひ刈ってくださいという話はさせていただきます。村民対話集会とか以前やったときもですね、皆さんから周遊道路と下の道路は刈り方が全然違うということで聞いてですね、工区長にもその旨話をしてどこだっということ言われたんですけども、とにかくそういう住民からの意見があるから、ぜひ刈っていただいたり、それから観光バスだとかそういうのは屋根がついちゃうんでそういうところのつくようなところの木はぜひ切ってください。そんな話もことあるごとに話をしていますのでぜひご協力いただきたいと思います。10月第1週にヒルクライムがあるので、その関係で今一生懸命ずっと本宿から刈っていただいていますので、それでも生い茂っていたりとかそういうことがあったら、村の方に言っていただければ、工区方にここもお願いしますという話をさせていただきます。

■近々選挙があると思うんですけど、選挙ポスターを立てるところも全然刈らないから業者が草を刈ってから看板立ててるよね。

■刈ったところと刈らないところがあって、なんでここは刈らないのかなこっちは刈ってってなんでここから先は刈ってないのかなって要望でちょっと言ってもらえればいいのかと思います。観光客だってここは刈ってるけどここは草がすごいなって思うと思うんだよね。車で通る道だからその辺のところを役場として言ってもらった方がいい。

それとあとね、もう一点なんだけど、今年なんかナラの木が山で枯れているんですよ。なんか虫が入ってるとかいうのは、何かそのまま置いておいちゃうとナラの木がみんな枯れちゃうのかなと思って、なんか今のうちに手を打たないと枯れちゃうのかなと思ってい

るんです。その辺はちょっと何か対策でもしてもらった方がいいのかなとは思っています。

→【村長】

都道の草刈の件は繰り返しですけれども東京都の方には伝えさせていただきます。

そしてナラ枯れ病なんですけども、この議会ですら、ここにいらっしゃいます議員さんからも一般質問でいただいております。そして山の高いところを見るとですね、真っ赤になって、あの紅葉してるようなやつはみんなナラ枯れ病ですね。そしてナラも小さい木には入らなくて、大きな木にばかり入るということでそんな形で道沿いにも枯れてるものが目立つようになりました。道沿いについては、東京都と相談して、それは伐採して、枯れてるから大きな木が倒れると車に怪我人だとか死ぬような人が出ると困るので対策をさせていただきます。

そして山の遊歩道だとかそういう山の登山道なんかはレンジャーとか、村の方で関係も調査をさせていただいて、影響があるところは、後々には少し除去しようっていうそんな話にはなってますので了解いただきたいと思います。ナラを切って割っていただいたり積んどいていただくと、その中に入ってる虫っていうのは、90%ぐらいは死ぬということで、消毒とかそういうのをやらなくても、死滅するというような形で聞いてます。

■最後に、さっきクマの話があったんですけどクマ撃退スプレーがあるんですけど、それを買った場合、多少補助金を出してもらうことが可能ですか？

→【副村長】

緊急のときには貸し出しのようなことはしてるんですけども、それを買ったからといって今は補助はないんです。また今後クマの出没がすごく増えたら考えていくかっていうところなので、現時点ではなくて今日ご意見をいただいたような形ということでご理解いただきたいです。

【司会】

ではお時間になりましたので。最後に吉本村長からのお礼の挨拶をもって終了とさせていただきます。

→【村長】

本日はお忙しいところ、集会に参加をいただきましてありがとうございます。皆様からいただいたご意見については今後のですね、村政運営に反映させていただきますのでよろしく

お願いいたします。そしてこれからも私はですね、村民に開かれた新しい檜原村作るために
ですね、頑張って参りますので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。
本日は大変ありがとうございました。